

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	システム・情報処理実習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	森本 政一	実務経験とその関連資格	日本コンピュータ・システム(現 NCS&A)、大阪ハイテクノロジー専門学校、NTTラーニングシステム、(株)GCPS等でソフトウェア開発、コンピュータ関連教育を45年間行っている。大阪府専修学校高等課程教員資格、情報処理2種取得			
《授業科目における学習内容》						
データベース・ソフトACCESSでもって、就職先(病院、臨床検査機関)に於いて簡単なシステム開発を、できるようにする。						
《成績評価の方法と基準》						
本科目は毎回、成果物を評価していく。 実習点 7割、出席点 2割 平常点 1割 以上を合計し、成績評価する。(出席点は学校の評価基準による。) 優 80以上 良 70点以上 可 60点以上 60点未満 不可						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
実習課題プリントを、各回の授業開始時に配布。 参考図書 2年の時使用したACCESSのテキスト						
《授業外における学習方法》						
もし欠席、公欠でできなかった課題は、本館2階のパソコンならどうしてもACCESSの作業ができるので、本館2階のパソコンルームで作業してください。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床工学技士科の実習科目は座学以上に出席率は高く求められているので、特に留意すること。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	2年生の時のACCESS復習	「会員管理システム」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う	
		各コマにおける授業予定	授業の進め方について説明。ACCESSの基本操作方法復習ACCESS——「会員管理システム」			
第2回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	デザインビューでテーブルを作成、フォーム作成、クエリー作成、レポート作成、メニュー作成、起動時の設定	「会員管理システム」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う	
		各コマにおける授業予定	ACCESS——「会員管理システム」			
第3回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	ACCESSでシステム生成のこつを理解する	「ダイアライザシステム」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う	
		各コマにおける授業予定	ACCESS——「ダイアライザシステム」			
第4回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	サブフォーム作成の仕方、生成項目を作り、金額＝数量＊単価 消費税計算 伝票合計計算	「売上伝票システム」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う	
		各コマにおける授業予定	ACCESS——「売上伝票システム」			
第5回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	ACCESSでシステム生成のこつを理解する	「ME機器管理システム」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う	
		各コマにおける授業予定	ACCESS——「ME機器管理システム」			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義	授業を通じての到達目標	グラフウィザードによる各種データの種々種類のグラフの作成	「グラフを伴うシステム」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う
	実習形式	各コマにおける授業予定	ACCESS——「グラフを伴うシステム」		
第7回	講義	授業を通じての到達目標	ACCESSでシステム生成のこつを理解する	「ME機器管理システム」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う
	実習形式	各コマにおける授業予定	ACCESS——「ME機器管理システム」		
第8回	講義	授業を通じての到達目標	グラフウィザードによる各種データの種々種類のグラフの作成、レポートウィザードによる各種集計表の作成。VBA による検索組込み	「グラフを伴うシステム」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う
	実習形式	各コマにおける授業予定	ACCESS——「グラフを伴うシステム」		
第9回	講義	授業を通じての到達目標	VBAの使い方の基礎、三角形の面積、台形の面積を計算させる。半径を入力し、円の面積、球の体積、球の表面積を計算させる	「VBA1」仕様書 「VBA2」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う
	実習形式	各コマにおける授業予定	ACCESS——VBA		
第10回	講義	授業を通じての到達目標	医療情報システム開発センターより病名マスターをダウンロードし、各種処理を行う	「医療情報システム開発センターシステム」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う
	実習形式	各コマにおける授業予定	ACCESS——「医療情報システム開発センターシステム」		
第11回	講義	授業を通じての到達目標	医療情報システム開発センターより手術処置マスターをダウンロードし「医療情報システム開発センターシステム」を作成	「医療情報システム開発センターシステム」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う
	実習形式	各コマにおける授業予定	ACCESS——「医療情報システム開発センターシステム」		
第12回	講義	授業を通じての到達目標	文部科学省のサイトより日本食品標準成分表のデータをダウンロードし日本食品標準成分表システムを作成	「日本食品標準成分表システム」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う
	実習形式	各コマにおける授業予定	ACCESS——「日本食品標準成分表システム」		
第13回	講義	授業を通じての到達目標	別フォルダ内にある画像ファイルをACCESS内の「日本食品標準成分表システム」のフォーム、レポートに画像表示	「日本食品標準成分表システム」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う
	実習形式	各コマにおける授業予定	ACCESS——日本食品標準成分表システム		
第14回	講義	授業を通じての到達目標	EXCELの電気回路図アドインマクロで電気回路図、論理回路図を作成する	「電気回路図システム1」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う
	実習形式	各コマにおける授業予定	EXCELマクロ——電気回路図システム		
第15回	講義	授業を通じての到達目標	サブフォーム作成の仕方、リレーションの設定	「ME機器管理システムⅡ」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う
	実習形式	各コマにおける授業予定	ACCESS——「ME機器管理システムⅡ」		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		臨床工学技士科(昼間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名		システム・情報処理実習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		3年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員		森本 政一	実務経験とその関連資格	日本コンピュータ・システム(現 NCS&A)、大阪ハイテクノロジー専門学校、NTTラーニングシステム、(株)GCPS等でソフトウェア開発、コンピュータ関連教育を45年間行っている。 大阪府専修学校高等課程教員資格、情報処理2種取得			
《授業科目における学習内容》							
データベース・ソフトACCESSでもって、就職先(病院、臨床検査機関)に於いて簡単なシステム開発を、できるようにする。							
《成績評価の方法と基準》							
本科目は毎回、成果物を評価していく。 実習点 7割、出席点 2割 平常点 1割 以上を合計し、成績評価する。(出席点は学校の評価基準による。) 優 80以上 良 70点以上 可 60点以上 60点未満 不可							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
実習課題プリントを、各回の授業開始時に配布。 参考図書 2年の時使用したACCESSのテキスト							
《授業外における学習方法》							
もし欠席、公欠でできなかった課題は、本館2階のパソコンならどれでもACCESSの作業ができるので、本館2階のパソコンルームで作業してください。							
《履修に当たっての留意点》							
臨床工学技士科の実習科目は座学以上に出席率は高く求められているので、特に留意すること。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	EXCELで1～360° のSinグラフを作成、それをACCESSにデータインポートする。VBA で各種計算をさせる		「VBA4」仕様書 「VBA5」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う	
		各コマにおける授業予定	ACCESS——「VBA4」				
第17回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	医療情報システム開発センターより医薬品ホットマスターをデータをダウンロードし「臨床検査&医薬品システム」作成		「臨床検査&医薬品システム」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う	
		各コマにおける授業予定	ACCESS——「臨床検査&医薬品システム」				
第18回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	医療情報システム開発センター、医薬品ホットマスター日本臨床検査学会よりデータをダウンロードし「臨床検査&医薬品システム」を作成		「臨床検査&医薬品システム」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う	
		各コマにおける授業予定	ACCESS——「臨床検査&医薬品システム」				
第19回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	コンボボックスの使い方、リレーションの設定方法		「血液検査システム」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う	
		各コマにおける授業予定	ACCESS——「血液検査システム」				
第20回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	コンボボックスの使い方、リレーションの設定方法		「血液検査システム」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う	
		各コマにおける授業予定	ACCESS——「血液検査システム」 現時点までの成果物をデータ圧縮し、すめて提出する				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 21 回	講義 実習 形式	授業を 通じての 到達目標	別ディレクトリにある画像データの表示、サブフォーム作成の仕方、生成項目で計算で求める値の生成	「健康管理システム」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う
		各コマに おける 授業予定	ACCESS——「健康管理システム」		
第 22 回	講義 実習 形式	授業を 通じての 到達目標	サブフォーム作成の仕方、生成項目で計算で求める値の生成	「診察予約システム」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う
		各コマに おける 授業予定	ACCESS——「診察予約システム」		
第 23 回	講義 実習 形式	授業を 通じての 到達目標	すべての成果物をデータ圧縮し提出	「診察予約システム」仕様書	ACCESSの操作方法について予習・復習を行う
		各コマに おける 授業予定	ACCESS——「診察予約システム」 すべての成果物をデータ圧縮し提出する		